

音楽 I

指導目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。「知識及び技能」(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身につけるようにする。「思考力、判断力、表現力等」(2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。「学びに向かう力、人間性等」(3)主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
------	--

教材	教科書：「音楽 I Tutti プラス」 学習書「音楽 I 改定版学習書」 ネットレポート、学習ノート
----	---

レポート 面接指導 放送 到達度チェック・試験	全6回 必要時間数：2時間（※面接指導減免6割の学習者は必要4時間） 全42回（ラジオ WEB視聴可） 中間到達度チェック、年度末試験は実施しない。2024年度からは実技試験に代わり創作課題をスクーリング内で実施する。
----------------------------------	--

単位	2単位
評価	【①知識・技能】 レポート各回の学習内容の成果に基づき評価する。 【②思考・判断・表現】 レポート各回の学習内容の成果に基づき評価する。 【③主体的に学習に取り組む態度】 レポート各回の学習内容・成果・放送視聴課題、提出状況（期限）、スクーリング出席状況（必要時間の充足）をもとに評価する。 以上の3観点の総合評価により、年度末に評定【5、4、3、2、1】を決定する。

月	添削指導（レポート）		面接指導（スクーリング）		放送（NHK高校講座）		オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
	回（提出期限）	指導単元・項目	週	指導内容・学習活動等	回	内容	内容	内容・範囲
4			①	「音楽 I」学習の概説 1 学習上の注意事項や学習手順を理解する。 2 「暮らしの中にある音や音楽」を通して、自分と音楽との関わり方について考える。	1	・音楽の世界へようこそ	第1回オンライン学習サポート動画 音楽 I の学習方法 第1回レポート範囲	
			②	■第1回レポート「歌うための発声器官と発声の仕組みを理解する」 教科書p.12～13「声という大切な楽器」から発声のしくみを理解する。 4 ■「少年時代」 発声の仕組みで学んだことを生かし、歌詞を味わい気持ちを込めて歌う。	3	・日本のポップスを歌う		
	第1回レポート（5月25日）	●音名、音符の長さを理解する。 ●歌うための発声器官と発声の仕組みを理解する ●暮らしの中にある音や音楽を通して、作品の楽しみ方のルールを知る。	③	■第1回レポート「音名、音符の長さを理解する」 教科書p.146「大譜表と音名」「音符と休符」を理解し、教科書p.18「春が来た」等の曲をイタリア音名で歌う。	5	・音楽のかたちと社会のかたち	第2回オンライン学習サポート動画 第2回レポート範囲	
			④	■「音の高さを表す5本の線」 教科書p.17、p.21を通して音符と五線譜について理解を深め、「春が来た」等のメロディーを実際に五線紙に書く。 ■第1回レポート「作品の楽しみ方のルール」 教科書p.143「音楽と著作権」から著作権について理解し、なぜ著作権が必要なのかグループで意見交換を行う。	7	・楽譜と演奏の複雑な関係		

6		<p>⑤</p> <p>■第2回レポート「弦楽器、木管楽器の音の出る仕組みを理解する」</p> <p>放送で紹介された弦楽器と木管楽器の音の出る仕組み、特徴について理解を深める。教科書p.122～123を通して、オーケストラで使われている楽器について知り、演奏を鑑賞する。</p>	9	・糸が紡ぎ出す音楽			
		<p>⑥</p> <p>■第2回レポート「この道」について理解を深める</p> <p>放送で紹介されている呼吸法と発声を実践する。楽譜に記載されている強弱記号について知り、表現について考える。歌詞の内容を味わい、気持ちを込めて歌う。</p> <p>■「日本の民謡と芸能」</p> <p>教科書 p.46～47を参照し、各地に伝わる民謡、芸能について知り、自分が住む地域に伝わる音楽に関心を持つ。</p>	10	・木と風の音楽			
7	第2回レポート (7月10日)	<p>●日本歌曲「この道」について理解を深める</p> <p>●弦楽器、木管楽器の音の出る仕組みを理解する</p> <p>●バロック時代の特徴について理解を深める</p>	<p>⑦</p> <p>■第2回レポート「バロック時代の特徴について理解を深める」</p> <p>教科書p.110と放送を通して、バロック時代の背景と音楽の特徴について知る。協奏曲やオペラなど、代表的な作品を鑑賞する。</p>	14	・日本の民謡を歌う		
			<p>⑧</p> <p>■第3回レポート「古典派、ロマン派の音楽について理解を深める」</p> <p>教科書p.111と放送を通して、古典派の時代背景と音楽の特徴について知る。交響曲など代表的な作品を鑑賞する。</p> <p>■第3回レポート「金管楽器の音の出る仕組みを理解する」</p> <p>放送で紹介された金管楽器の音の出る仕組み、特徴について理解を深める。</p>	15	・「ソナタ形式」と古典派音楽		
8			1				
			2				
9	第3回レポート (9月10日)	<p>●金管楽器の音の出る仕組みを理解する</p> <p>●古典派、ロマン派の音楽について理解を深める</p>	<p>⑩</p> <p>■第3回レポート「古典派、ロマン派の音楽について理解を深める」</p> <p>教科書p.112と放送を通して、ロマン派の時代背景と音楽の特徴について知る。交響曲など代表的な作品を鑑賞する。</p> <p>2 ■「音名、音符の復習」「音程と音階について」</p> <p>後期の創作課題に向けて、前期に学んだイタリア音名、五線譜について復習し、イタリア音名で歌い、楽譜を書く。</p>	18	・キーボードアンサンブル		
			<p>⑪</p> <p>■「英語のライムを感じて」</p> <p>教科書p.36～37、英語の歌詞に見られるライムについて理解する。放送で紹介されていた発声法を意識して歌う。</p> <p>■「ポピュラー音楽に親しむ」</p> <p>教科書p.140～142、放送で紹介されているアメリカのポピュラー音楽について理解を深め、鑑賞する。</p>	19	・音程と音階について		
			3	20	・リズムを表現しよう	第4回オンライン学習サポート動画	
			4	21	・英語の歌を歌う	第4回レポート範囲	
				22	・こころ踊るリズム		

10	第4回 (10/5)	<ul style="list-style-type: none"> ●拍子、リズムについて理解する ●日本の劇音楽について知る ●世界の音楽について理解を深める ●コードネームの仕組みを知る 	<p>⑬</p> <p>■第4回レポート「拍子、リズムについて理解する」 教科書p.43、p.147から拍子について、拍子記号のと各拍子の特徴について理解する。</p> <p>1</p> <p>■第4回レポート「コードネームの仕組みを知る」 教科書p.61、「わかると便利コードネーム」放送「キーボードハーモニー」からコードネームについて理解する。</p> <p>2</p>	23	・調について		
			<p>3</p> <p>■第4回レポート「日本の劇音楽について知る」 能、歌舞伎、文楽の成り立ちと劇に用いる楽器や音楽の種類について知る。</p> <p>4</p> <p>■「世界のさまざまな音楽の魅力」 教科書p.104～107を通して、世界各地の声や楽器について関心を持つ。</p>	24	・リズムパターンで音楽をつくる		
11			<p>⑭</p> <p>■第5回レポート「ドイツリートとドイツ語の歌について理解する」 教科書p.22～29、p.112、p.116、放送からドイツ語の発音と歌い方を理解し、シューベルト等の作品を鑑賞する。</p> <p>1</p> <p>■第5回レポート「オペラ、イタリア語の歌について知る」 教科書p.110～111、p.128、p.130からオペラについて理解を深め、代表的な作品を鑑賞する。</p> <p>2</p>	27	・素晴らしきオペラの世界		
			<p>⑯</p> <p>■第5回レポート「オペラ、イタリア語の歌について知る」 p.22～27、放送からイタリア語の発音と歌い方を理解し、鑑賞する。</p> <p>3</p> <p>■第5回レポート「帝国主義と民族主義の音楽について理解する」 放送を通して19世紀初頭から20世紀初頭における音楽の歴史背景について知り、作品を鑑賞する。</p> <p>4</p>	28	・ドイツ語の歌を歌う	第5回オンライン学習サポート動画 第5回レポート範囲	
12	第5回 (12/10)	<ul style="list-style-type: none"> ●オペラ、イタリア語の歌について知る ●ドイツリートとドイツ語の歌について理解する ●帝国主義の音楽と民族主義の音楽について理解する 	<p>⑰</p> <p>■シューベルトの歌曲 教科書p.28～29、p.112、p.119からシューベルトの生涯と作品について理解を深め、作品を鑑賞する</p> <p>1</p> <p>■第6回レポート「作曲に取り組む」 教科書p.21「言葉を生かして旋律をつくろう」放送「曲を作って楽譜を書いてみよう」を参考に、創作を行う。</p> <p>2</p>	32	・日本の楽器と合奏スタイル		
			<p>⑱</p> <p>■第6回レポート「日本音楽史について理解を深める」 教科書p.96～99「日本音楽史」、p.100～101「古の音楽に思いをはせよう」教科書p.88～94「和楽器のしらべ」から日本の音楽について理解を深め、鑑賞する。</p> <p>3</p> <p>4</p>	33	・篠笛を吹こう	第6回オンライン学習サポート動画 第6回レポート範囲	
1	第6回 (1/5)	<ul style="list-style-type: none"> ●日本音楽史について理解を深める ●学習のまとめ ●作曲に取り組む 	<p>⑲</p> <p>■「テーブルミュージックを楽しもう」「ヴォイス・アンサンブルを楽しもう」 教科書p.68、p.64～67から、これまで学習したことを生かし、アンサンブルや創作を行う。</p> <p>1</p> <p>2</p>	35	・混声四部合唱の曲を歌う		
			<p>⑳</p> <p>■「近代、現代の音楽」 近代、現代の音楽のさまざまな作曲技法について理解し、鑑賞する。これまでの学習のまとめ、学習を通してこれからの音楽と自分との関わり方について考える。</p> <p>3</p> <p>4</p>	36	・現代の「クラシック」音楽		
			<p>37</p>	37	・楽器を使った創作にチャレンジしよう		

2		1	38	・中世・ルネサンス期の音楽		
		2	39	・ギターは世界をめぐる		
		3	40	・クラシック・ギターを弾こう		
		4	41	・現代のポピュラー音楽		
3		1	42	・エピソード		
		2				
		3				
		4				